

一般財団法人 飛騨地域地場産業振興センター

平成30年度 事業計画

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(事業の基本方針)

国内地域を取り巻く経済環境は、少しは明るさが見えてきたものの、依然として不安定で厳しい状況が続いております。特に、人口減少、少子高齢化が進み、消費の停滞など地域経済に与える影響が懸念されます。

当地の地場産業界も、こうした厳しい状況を打開するため、時代に適合した商品の開発、デザインをはじめとした商品力の強化・品質の向上、外に向かったの積極的な情報発信が今まで以上に必要となってきました。

当センターも飛騨地域地場産業の活性化を図るべく、行政機関・業界との連携を密にしつつ、またセンターの有する機能を効果的に活用しながら地場産業振興のための諸事業を積極的に推進してまいります。

1 施設管理運営事業

地域地場産業界の活性化に寄与するため、またセンターの運営基盤の確立を目指して、センター施設の内容・機能の充実をさらに進めるとともに、広く地域社会全体に広報宣伝し、施設利用の促進を図り、自主財源の安定確保に努める。

施設面においては、建設より33年以上を経過し、設備が老朽化しているため、助成を含めた財源確保に努めるとともに、経費節減に努力をしていく。

2 地場産業振興事業

(1) 地場産品展示・普及事業

(ア) 飛騨地域の農業生産業種事業所実態調査

飛騨地域には、農業関係に属するさまざまな食品生産関係業種の事業所が存在しているが、いまだ知られていない業種の事業所もみられ、それらを発掘し、より認知度を高め、ブランド化、食品生産業界発展に必要と考え、そのための基礎資料とするため発掘実態調査を実施する。

・調査方法 関係団体及び現地に出向いての現地調査

(イ) 飛騨・装飾小物新作開発事業

これまで伝統工芸品など数多くの工芸品が制作されているが、消費者ニーズや嗜好の変化にマッチしない製品も多くなっており、結果売上高が伸び悩んでいることから、従来作られてこなかった新しい分野の新商品開発の必要性が高くなっている。そこで、飛騨の工芸の高い技術をもった職人の技を身近に感じることができ、また、日々身に着ける事でPR効果も考えられる、

装飾小物を中心に新しい視点での製品を試作開発し、当地のものづくり業界の活性化に繋げることを目的に実施する。

- ・参加者 10名程度
- ・参加者 飛騨一位一刀彫協同組合、飛騨春慶連合協同組合、飛騨のつくり手の会、飛騨の木工房の会、地元で活動している作家や作り手
- ・試作内容 ネックレス、ブローチ、髪留め、帯留め、ボタンなど装飾小物
- ・アドバイザー 加藤尚子 デザイナー

(ウ) 飛騨・暮らしの工芸品展示会

飛騨地域には、伝統的工芸品（飛騨春慶・一位一刀彫）の他にも、陶磁器・木工・紙製品・ガラス・布・染・金工・竹細工など数多くの優れた工芸品が作られているが、一部を除いて全国的知名度・認知度は十分とはいえない。そこで、これら工芸品の認知度を高め、当地を代表する工芸品として育成・発展させるためにも、積極的かつ継続的なPRが必要であることから、首都圏においてこれら工芸品の良さを広くPRするための展示会を開催する。

- ・実施期間 平成31年2月22日（金）～24日（日） 3日間
- ・実施会場 横浜市 西区 高島町2-12-6
横浜新都市センターB2・新都市プラザ
- ・設置コーナー ①工芸品展示コーナー
飛騨春慶、一位一刀彫、陶磁器（小糸・渋草）、布細工・染物・鉄工製品・桐細工・和紙・竹細工 他
②飛騨・装飾小物新作開発事業試作品展示コーナー
③制作実演コーナー
④観光・工芸品パンフレットコーナー
⑤インフォメーションコーナー
- ・制作実演者 未定

(エ) 飛騨の物産PR事業

歴史の中で培われた伝統・文化・自然などの観光資源を始め、工芸品や物産を紹介することで、観光客の誘致、各種物産・工芸品の認知度向上を図るため、各地場産センターで開催される物産展等に参加しPRに務める。

<今治会場>

- ・実施期間 平成30年10月中旬 2日間
- ・実施場所 愛媛県今治市旭町2-3-5
(一財)今治地域地場産業振興センター
- ・設置コーナー ①物産展示コーナー
②観光・工芸品パンフレットコーナー

<防府会場>

- ・実施期間 平成30年11月中旬 2日間

- ・実施場所 山口県防府市八王子 2-8-9
(一財) 山口・防府地域工芸・地場産業振興センター
- ・設置コーナー ①物産展示コーナー
②観光・工芸品パンフレットコーナー

(オ) 飛騨の伝統的工芸品展

飛騨地域の伝統工芸品である飛騨春慶、一位一刀彫、陶磁器を広く紹介し、伝統工芸品の魅力と需要の喚起を目的に開催。

- ・実施期間 平成30年9月5日(水)～9日(日) 5日間(予定)
- ・実施場所 飛騨・世界生活文化センター(予定)
- ・共催 飛騨の伝統的工芸品産業振興協議会

(カ) 飛騨の工芸品PR事業

飛騨地域に埋もれた工芸作家の作品を広く紹介し、制作者の意欲を刺激し、販路拡大につなげるための、ライフスタイル展を開催する。

- ・実施期間 平成30年9月5日(水)～9日(日) 5日間
- ・実施場所 飛騨・世界生活文化センター

(2) 地域人材確保・養成事業

(ア) 飛騨地域ものづくり技能向上研修

飛騨地域には、伝統工芸品を始めとして、多くの優れた技術が蓄積しているが、通常そうした技や技術に接することは困難なことが多い。そこで、家具や木工、クラフトなどに従事している若手を対象に、第一線の職人から直接技や技術を教授してもらうことで、技能の向上・ものづくり意識の啓発を目的に実施をする。

- ・実施期間 平成30年7月～平成31年2月
- ・講習業種 木工加工(木工ろくろ、曲げ物他)、漆塗、鍛冶他
- ・実施場所 各職人の工房・地場産センター
- ・募集人員 各講座 10名程度

(3) 地場産業活性化対策事業

(ア) 飛騨の味まつり

飛騨地域において生産される「食」を展示・即売し、飛騨の味を広く紹介し、需要の開拓・販路の拡大を図ることを目的に、春・秋2回開催をする。

- ・実施期間
 - <春> 平成30年5月26日(土)・27日(日) 2日間
 - <秋> 平成30年9月8日(土)・9日(日) 2日間

・実施場所 高山市本町1・2丁目商店街

(イ) 親子伝統的工芸品体験教室

小学生の親子を対象に、夏休みの期間を利用して、伝統工芸の制作体験教室を開催し、伝統工芸品への理解と関心を深めるとともに、飛騨地域のものづくりへの関心を醸成することを目的に実施をする。

- ・実施期間 平成30年8月上旬
- ・実施場所 地場産センター
- ・実施業種 一位一刀彫
- ・募集人員 親子15組 30名程度

(ウ) 情報収集提供事業

- ①地場産センターの事業内容や地場産業に関する情報を、ホームページを通して積極的に情報提供を行う。
- ②センターの有する図書・ビデオなどの有効活用を図る。

(4) 地場産業販路開拓事業

(ア) 飛騨高山つくり手の会 2018 (旧飛騨のクラフト展)

飛騨地域に育っているクラフトマンの作品を広く紹介することで、クラフト制作者の創作意欲を刺激し、デザインや技能の向上が期待されると共に、飛騨のクラフトの認知度の向上、販路の拡大につなげることを目的に実施をする。

- ・実施時期 平成30年9月5日(水)～9日(日) 5日間
- ・実施場所 飛騨・世界生活文化センター

(イ) クラフトマン研修会

飛騨地域で活動するクラフトマンは、それぞれが技術を磨き、制作活動に取り組んでいるが、さらにその資質を高め、視野を広げることで作品の質の向上が期待されることから、デザインをはじめとした専門家を招いて研修会を開催する。

- ・実施時期 飛騨高山つくり手の会 2018 期間中
- ・実施場所 飛騨・世界生活文化センター
- ・講師 未定

3 その他の振興事業

(1) 「2018 飛騨の家具フェスティバル」

後援団体として事業の推進に協力する。

- ・主催 (協)飛騨木工連合会
- ・実施時期 平成30年9月5日(水)～9日(日) 5日間

・実施会場 飛驒・世界生活文化センター

(2) 飛驒のつくり手の会に対する支援

飛驒のつくり手の会（旧クラフト協会）の事務局を担当し、事業の推進を支援する。

(3) 飛驒の木工房の会に対する支援

飛驒の木工房の会の事務局を担当し、事業の推進を支援する。

(4) 飛驒地域つくり手総覧・食品製造業事業所総覧利用活用

当センターが、平成28年度・平成29年度に実態調査を実施し総覧にまとめた報告書を、飛驒の味まつり出店勧誘、飛驒の家具フェスティバル出展勧誘等に活用し販売促進に努める。

(5) 地場産品解説者育成研修

「飛驒・匠 クラフトギャラリー」の有効活用を図るため、展示内容の充実、更新、企画展の開催などを実施するとともに、この取り組みを通じ、展示品の解説・紹介、飛驒地域の観光案内等の人材育成研修を行う。